

みずほCustomer Desk Report 2024/07/23号 (As of 2024/07/22)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	157.48
TKY 9:00AM	157.42	1.0899	171.49	GBP/USD	AUD/USD
SYD-NY High	157.61	1.0903	171.59	1.2933	0.6695
SYD-NY Low	156.29	1.0873	170.09	1.2940	0.6702
NY 5:00 PM	157.02	1.0892	171.00	1.2905	0.6632
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	40,415.44	127.91	日本2年債	0.3400%	0.0000%
NASDAQ	18,007.57	280.63	日本10年債	1.0500%	0.0175%
S&P	5,564.41	59.41	米国2年債	4.5203%	0.0051%
日経平均	39,599.00	▲ 464.79	米国5年債	4.1744%	0.0052%
TOPIX	2,827.53	▲ 33.30	米国10年債	4.2535%	0.0116%
シカゴ日経先物	40,005.00	295.00	独10年債	2.4820%	0.0200%
ロンドンFT	8,198.78	43.06	英10年債	4.1590%	0.0365%
DAX	18,407.07	235.14	豪10年債	4.3130%	0.0180%
ハンセン指数	17,635.88	218.20	USDJPY 1M Vol	9.43%	0.03%
上海総合	2,964.22	▲ 18.09	USDJPY 3M Vol	9.02%	▲0.05%
NY金	2,394.70	▲ 4.40	USDJPY 6M Vol	9.25%	▲0.03%
WTI	78.40	▲ 0.24	USDJPY 1M 25RR	▲1.68%	Yen Call Over
CRB指数	283.09	2.73	EURJPY 3M Vol	8.43%	▲0.03%
ドルインデックス	104.31	▲ 0.08	EURJPY 6M Vol	8.75%	▲0.03%

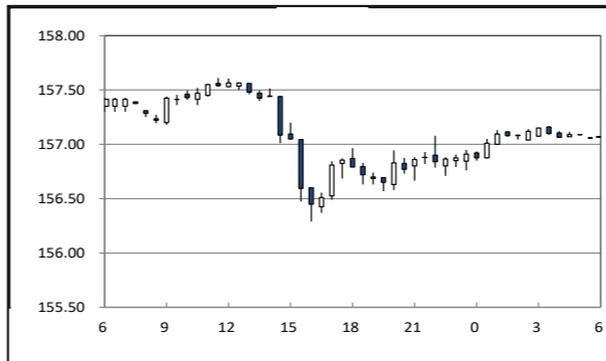
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
7月22日	21:30	米 シカゴ連銀全米活動指数	6月 0.05	-0.09

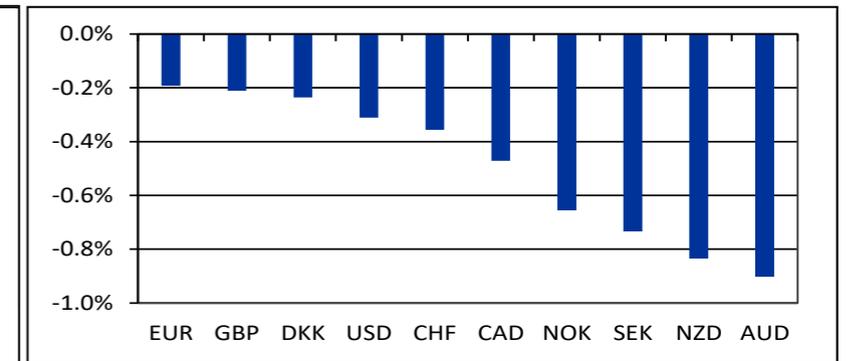
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
7月23日	14:00	日 基調的なインフレ率を捕捉するための指標	6月 -	-
	23:00	欧 消費者信頼感・速報	7月 -13.5	-14.0
	23:00	米 中古住宅販売件数	6月 3.99m	4.11m

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	156.00-158.00	1.0850-1.0950	169.80-172.00

【マーケット・インプレッション】

昨日のドル円は東京時間横ばい後、欧州時間でポジション調整的に売られ、156.29の安値まで下落。その後はもみ合いつつも日銀のヘッドラインもあり、157円台手前まで回復。北米市場では世界的なシステム障害の影響が一服、株式は反発を見せるもドル円は一進一退となった。
 本日のドル円は方向感の出ない展開を想定。既述のように昨日はストップを巻き込んだような急落をしたが、その後の欧州時間での反発は弱く、もたついた。また北米時間では株高への円安感応度も低いと言わざるを得なかった。今までのように「黙っていれば円安」という相場つきとは違う展開になっている。一方で、円高に振れる場面では拾われる動きで、結局方向感が出ない展開を予想。

東京	東京時間のドル円は157.42レベルでオープン。週末にバイデン大統領の大統領選撤退報道が伝わるも相場への影響は限定的であった。午後の欧州勢が参加してくる時間にはポジションの巻き戻しとみられるクロス円中心とした円買いが進み、ドル円も一時156円半ばまで下落。結局、156.60レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、156.60レベルでオープン。東京時間からの流れで円買いとなるも、その後すぐに反発し底堅く推移。結局、156.88レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は157円台半ばでスタート。週末に発表されたバイデン大統領の米大統領選からの撤退表明に加えて、中国人民銀行が一部市場の予想に反し、主要短期政策金利の7日物リバースレポ金利を1.8%から1.7%に引き下げた事等を受け、アジア株が軟調な展開を見せる中、リスクオフの円買いが進み、156.29まで下落。その後は米短期金利が上昇する展開を受け反発し、156.88レベルでNYオープン。午前中は手がかり材料が乏しい中、米金利が一段と上昇する展開が下値を支え、157.10付近まで上昇する。午後は157.17を付ける場面もあったが、その後は小幅反落し、157.02レベルでクロス。一方、海外市場のユーロ円は1.08台半ばでスタート。米金利の上昇が上値を抑え、1.0880付近で上値重い推移が続き、1.0886レベルでNYオープン。午前中は特段注目材料が見当たらない中、1.0880付近を挟んだ狭いレンジ推移が続く。午後は米金利の低下が支えとなり、1.0892まで上値を伸ばし、そのままクロス。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。